



総務・人事・経理部門の業務の効率化、生産性向上を支援 「第6回HR EXPO」に出展 日立システムズ

総務・人事・経理担当者向けのサービスが集まる日本最大級の専門展「総務・人事・経理ワールド2018」が7月に東京ビッグサイトで開催された。同展は、働き方改革、防災、セキュリティ、省エネ、財務、福利厚生などに関する8つの展示会で構成されている。その中の「HR EXPO」では、労務や勤怠管理、給与計算、人事評価システムなどの人事業務を支援するさまざまな製品・サービスが紹介された。なかでも、働き方改革や健康経営を支援するサービスに注目が集まった。

働き方改革の取り組み 生かした支援が可能

日立システムズは今回、RPAやチャットボットなどを活用し、総務・人事・経理部門の働き方改革をサポートするサービスや、健康経営を支えるサービスなどを出展した。

日立システムズは、自社の働き方改革の取り組みも活発である。多様な人材が多様な価値観を持っていきいきと

活躍し、大きな成果を挙げることができ、大きな環境をつくるための企業活力向上施策に取り組んでおり、子育て支援や女性活躍支援、健康経営に対する取り組み状況が優良な企業としての認定も取得している。今回出展したRPAソリューションの「定型業務自動化支援サービス」は、自社の営業部門のバックオフィスセンタで行っている基幹システムへの受注入力作業にも導入している。導入の結果、入力1件あたりの作業時間が約3分の1に短縮し、入力ミスも少なくなり作業品質が向上した。こうした自社適用のノウハウも生かしてサービスを提供することで、本サービスはすでに100社以上の導入実績がある。さらに、本サービスでは複数のRPAツールを取り扱うことも可能で、業務の単純な自動化だけな



にぎわう日立システムズのブース

く、ユーザーの目的に合わせた業務全体の効率化と生産性の向上に貢献できる。社内業務の効率化に取り組む来場者からは、豊富な事例に関心が多く寄せられた。

心の健康状態を数値で見える化

他にも、旅費・経費の精算システムやデータレスPCソリューションなどが展示されていたが、なかでも、人事・給与・就業ソリューション「HIPL US就業管理システム」の展示が盛況だった。来場者からは、柔軟な働き方の実現に向けて、さまざまな勤務形態

に対応できる部分などが評価されていた。

また、健康経営の取り組みや、従業員の健康意識向上に対する施策がなかなか浸透しないことに悩みを抱える企業などからは、声で心の健康状態を見える化できるクラウドサービス「音声こころ分析サービス」が注目を集めた。自記式によるストレスチェックや問診・面談だけでは実態を見極めることが困難なケースもあるが、本サービスは、本人の意図に左右されずに手軽に心の状態をチェックできる。実際に体験する来場者の姿も見られた。



真剣に説明を聞く来場者

現場の働き方改革を支える日立システムズのサービス

<https://www.hitachi-systems.com/workstyle/>

